

台風に伴う大雨により水害や土砂災害が起こりやすい季節です。身の回りの川や地形の特徴を正しく理解し、天気予報などの防災情報に気を配り、早めの避難行動が大切です。

避難の基本は「水平・垂直」！

水害や土砂災害からの避難の原則は、指定緊急避難所への早めの避難です（立ち退き避難）。しかし、屋外への移動が危険な場合は、屋内でより安全と考えられる屋内2階以上の部屋などに移動し（垂直避難）、とどまること（待機）も身を守る上では必要です。

サイボスレーダーを活用しましょう！

県が運営する防災情報サイト「サイボスレーダー」は、パソコンやスマートフォンから地域の天気予報、雨量・水位、土砂災害警戒情報、ライブカメラの映像などをリアルタイムで閲覧できる便利なサイトです。ぜひ日頃から活用しましょう。

ホームページ／ <http://sipos.shizuoka2.jp/sipos/>

避難行動の基本は「水平・垂直」！



水平避難（立ち退き避難）

- 原則は指定緊急避難場所への移動
- 指定緊急避難場所への移動が困難な場合は緊急的な避難場所への移動
 - ・ 近隣の高い建物、強度の強い建物などへの移動



難しい時は



垂直避難・待機（屋内での安全確保措置）

- 屋外への移動が危険だと判断する場合などは屋内で安全確保
 - ・ 屋内2階以上のがけから離れた部屋へ移動（垂直避難）
 - ・ 自宅でもより安全と考えられる場所にとどまる（待機）



沼川新放水路吐口部

画像はイメージです

なまずくん通信とは

この広報誌「なまずくん通信」では、沼川新放水路整備事業を中心に、沼川流域における治水対策事業について分かりやすく説明していくとともに、これからの川づくりの最新情報をお知らせしていきます。



なまずくん→

キャラクター紹介 なまずくん&なまず仙人

沼川新放水路により親しんでもらうため、2匹のキャラクターが沼川からやってきました。本誌「なまずくん通信」だけでなく、ホームページなどでも活躍してくれています。



なまず君

河川工学の博士になりたいナマズの男の子。
今はなまず仙人の弟子として修業中の身。趣味はジョギング。



なまず仙人

沼津市の安全・安心を願うナマズの仙人。
そろそろ隠居したいと考え、なまず君を弟子にとった。

表紙イメージ「沼川新放水路吐口部」について

沼川新放水路の海岸吐口部は、「沼川新放水路 構造環境検討会」を設立し、河川、海岸、環境の各分野における専門の先生の指導・助言を得て、浜の真ん中に出口を設ける「セットバック案」に決定しました。セットバックすることで、海岸地形への影響を減らし、土砂の打込みや構造物の損傷が少なくなるとともに、維持管理も容易になると考えています。



沼津土木事務所沼川新放水路整備課
Tel: 055-920-2129



目次

沼川新放水路整備事業紹介

沼川新放水路整備課紹介

今回のNEWS①：着工式を開催しました

今回のNEWS②：工事のお知らせ

今回のTOPICS：台風の季節！水害・土砂災害に御用心

キャラクター紹介 なまずくん&なまず仙人



沼川新放水路整備事業紹介

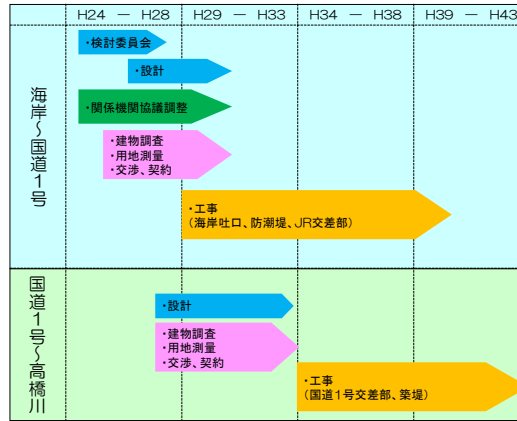


【事業概要】

沼川新放水路は、高橋川と沼川上流部の洪水を直接、海へ放流します。
これによって、10年に1回程度発生すると想定される規模の洪水による家屋浸水被害を概ね解消することで安全・安心な地域づくりに寄与します。

【計画概要】

箇所：沼津市大塚地先～柳沢地先
延長：2.3 km
計画高水流量：Q=150m³/s
事業期間：～平成44年度（予定）



今回のNEWS①：着工式を開催しました

沼川新放水路の本体工事着手にあたり、事業の推進をPRし、早期完成の機運高揚を図るため、7月28日に着工式を開催しました。当日は天候に恵まれ暑さの厳しい日となりましたが、国土交通省、県・市議会議員、交通基盤部長、沼津市副市长、地元関係者など約40名に御出席を頂きました。

主催者挨拶、来賓からの祝辞を頂いたのち、着工セレモニーとして沼津土木事務所長の着工宣言を合図に久寿玉割りと鋼矢板打設を行いました。長さ20mを超える鋼矢板が圧入されていく様子に会場からは歓声上がり、盛況のうちに式典を終えることが出来ました。



着工式でお披露目されたこの模型は、現在、三本松集会所にて展示されています。



沼川新放水路整備課紹介

静岡県沼津土木事務所 沼川新放水路整備課長の百瀬尚至でございます。皆様には、日頃より沼川流域をはじめ県の治水事業に御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

沼川新放水路整備課は、沼津市西部を流れる沼川流域の河川と新中川の総延長約19kmを管轄し、今年度から本格的に工事に着手する沼川新放水路の整備をより一層推進するために今年4月に新設されました。

沼津土木事務所の中でも比較的少人数の総勢5名からなる課ではありますが、沼川新放水路の整備の他にも、沼川、高橋川、沼川第2放水路、新中川などにおきまして、早期の浸水被害軽減や良好な河川環境の保全のために改良や維持工事を行っています。

沼川新放水路の整備は、本県治水事業の中でも重要性、事業規模、ともにトップクラスの事業であり平成44年度の完成に向け、一日でも早く完成し治水効果を発揮できるように、課員一丸となって整備を進めてまいりますので、今後とも御支援をお願いいたします。



今回のNEWS②：工事のお知らせ

沼川新放水路の今回の工事は、県道富士清水線～JRの区間です。本体BOXを設置するための仮設として、土留工（鋼矢板打ち込み）と掘削を行っています。

